



第 百 大口高校だより

秋の高校入試説明会

10月22日、秋の高校入試説明会を実施しました。自己推薦制度、入学時や年間にかかる学費、スクールバスの利用など、具体的に説明しました。今後の勉強の仕方などは、高校生が自分の経験を踏まえてアドバイスしました。

参加した保護者は、「肥薩線の復旧の目処が立たないとのことなので、地元の高校に進学して、勉強も部活動も頑張ってもらいたい」と話していました。



台湾の高校とZoomで交流

本校は、鹿児島県教育委員会の「教室から世界へ！かごしまグローバルクラスマート」事業で、台湾の国立嘉義女子高級中學（高校）とオンラインで交流を行っています。11月7日に行われた第2回目の交流では、食文化をテーマに、地域の伝統的な食べ物を紹介しました。

9月に実際に台湾を訪問した2年生の林優希君は、「ボキヤブリリーの少なさは、ジェスチャーを交えることで補える。」とコミュニケーションのコツをみんなに伝授しました。



伊佐市青少年健全育成大会

10月18日、伊佐市文化会館で開催された同大会は、3年生の加治屋賢将君、池ノ上奈穂さん、堀ノ内咲良さんが所属するSUGARiLL DANCE CLASSのダンスで幕を開けました。「黄金の俳句コンクール」の表彰式では、3年生の池ノ上奈穂さんの「夏の星 父と眺むる 無言の夜」という作品が市長賞を受賞。1年生の鹿島凜咲さんも教育委員会賞を受賞しました。

引き続き、社会教育功労者として大口高校が表彰を受けました。受賞理由は、「ふるさと歴史講座を通して、伊佐市民に社会教育の機会を提供した」というものでした。吉満庄司校長が代表して表彰状を受け取りました。



鹿児島県高等学校書道展

第56回鹿児島県高等学校書道展に出品した3年生の武海璃君、若松陽斗君、永野凜空君、1年生の鹿島凜咲さん、花立萌々子さんが揃って入選し、10月1日から7日まで鹿児島市のカクイックス交流センターで作品が展示されました。

秀作賞を受賞した武君の島崎藤村「千曲川旅情の歌」は大賞受賞の作品にもひけを取らない出来映えで、同じく藤村の横書きの詩集を書いた花立さんの「夏の夜」は見る人にインパクトを与える作品でした。

写真は、今回初出品の永野君の松尾芭蕉「晩秋」です。



第 百 大口高校だより



鹿児島県立
大口高等学校

〒895-2511 伊佐市大口里2670

TEL 0995-22-1441 FAX 0995-22-9227

サッカー部 ベスト8ならず！

第104回全国高校サッカー選手権鹿児島県大会において、本校は1回戦喜界高校に12-0、2回戦鹿児島工業高等専門学校に2-0と完封勝ち。

次の川内高校に勝てば、公立高校唯一のベスト8進出。そして、神村学園との対決と意気込んでいましたが、前半先制するも後半に追いつかれ、1-1でPK負けでした。次回こそは全校応援を実現したいです。



人権同和教育講演会

10月28日、高崎恵さんを講師に、「男女共同参画と多様性」というテーマで講演会を開催しました。

講演会は、ワークショップ型で進められ、それぞれの違いを理解して、多様性社会における新しい価値観を構築しようという内容でした。

アンケートには、「知らない間に、女子ということで自ら将来の夢も制限していたような気がする。これからは人としてどう生きるか考えたい。」などとありました。



新焼酎まつりで大口高校生活躍！

10月19日に開催された大口酒造「新焼酎まつり」で、3年生の池ノ上奈穂さん、山内あかりさん、1年生の今堀陽葵さん、今村藍那さん、中村紗耶香さん、吉元里織さんが大口高校のブースを出しました。

大口高校米クッキー、規格外の金山ネギに加え、本校OBの海老原純一先生が育てた枝豆も販売させてもらいました。



ステージ上でも、大口高校を大いにPRしてくれました。

多くのランナーが目標に掲げる存在

11月6日の南日本新聞の「南風録」は、全日本大学駅伝を取り上げ、「1999年と2000年には、鹿屋体育大の永田宏一郎選手が1区で区間賞を取った。高校教員となった現在も、県下一周駅伝などで息の長い活躍を見せる。多くのランナーが目標に掲げる存在だ。」と紹介しています。

その永田宏一郎先生は、今年4月に大口高校に赴任し、さっそく陸上競技同好会を立ち上げ、生徒と一緒にトレーニングを始めています。高校で陸上（長距離走）をしたいと考えている中学生の皆さん、永田先生の指導の下で思いっきり駆け抜けてみませんか。

